

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 5年 1月 20日

事業所名 籠原駅前教室

保護者等数(児童数) 41 回収数 34 割合 82 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	32件	1件	件	1件	・走り回れるくらいの広さがある。 ・活動の様子を見ていないので分からない。 ・子どもへの接し方等すばらしいです。	・1クールの定員を一定にすることで広さの確保をしています。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	30件	1件	件	4件		・職員は常勤・非常勤問わず、全員でらびあぼけっとの研修を受け、ABAセラピストの社内資格を有しています。 ・どのクールもお子様とワンツーマンで対応できる体制を整えております。
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	33件	件	件	1件	・部屋のトイレやイラストなど分かりやすくなっている。	・視覚的な理解ができるよう、トイレや手洗い場、フロアのホワイトボードなどにイラストを掲示しています。床はバリアフリー対応となっています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	34件	件	件	件	・掃除が行き届いてきれいです。	・新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行後も職員はマスクを着用し、各クール終了後は使用した玩具や床、ドアノブの消毒、教室の換気を行っています。
適切な支援の提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	34件	件	件	件	・半年ごとの面談で共同立案しています。	・面談には十分な時間を確保し、お子様の現状を正しく理解した上で、保護者のニーズを反映した計画を立てております。
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	31件	1件	件	2件		
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	34件	件	件	件		・職員は、振り返りシートや、毎週行われる会議を通して、常に児童発達支援計画を意識した支援が行えるよう今後も努めて参ります。
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	33件	件	件	1件	・せらびーノートで確認しています。 ・子どもに対してオリジナルのテキストや工作を作って下さった先生がいて嬉しかったです。 ・毎回工夫して頂き、本人もとても楽しそうです。	・同じプログラムにも工夫を凝らし、お子様が楽しく取り組めるよう、職員間でアイデアを出し合い取り組みます。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	14件	2件	2件	16件	・他の子の様子が分からないため保育園との連携を強めてほしい。	・殆どのお子様は幼稚園、もしくは保育園に通園されているため、教室として改めての機会は設けていません。
保護者への説明等	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	33件	1件	件	件		・契約時に、できるだけ丁寧な説明を心がけ、行っております。
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	33件	件	件	1件		
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	25件	件	4件	5件	・頂いたプリントを家でも実施しています。	・お子様に必要なトレーニングをお伝えし、ご家庭でも実践頂いています。ペアレントトレーニングの共通認識を深めていきたいと思っております。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	3件	1件	件	件		・お迎えの際、保護者の方とお話をさせて頂くことで共通理解に努めています。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	31件	件	件	3件	・半年ごとに面談があり現状を確認できている。	・半年に1度のモニタリングの他にも、ご相談を頂いた際は十分な時間を確保し、お話をさせて頂いております。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	8件	4件	10件	12件	・職員の方と連携が取れているので必要と感じていません。 ・特に必要性を感じていません。	・現状では保護者会の開催予定はありません。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	33件	件	件	1件		・その都度、細かな相談もして頂けるようお声がけさせて頂いております。
	17	子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	33件	1件	件	件	・お迎えの時、業務連絡のみで今日の様子をお話して頂けない日があり、ノートのみで確認したことがありました。少し悲しかったです。今日の様子は直接先生から聞けると嬉しいです。	・大変申し訳ございませんでした。お迎えの時は、必ず保護者の方に様子をお伝えするよう徹底しておりますが、以後気をつけたいと思っております。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	31件	1件	件	2件		・インスタグラムや、ブログ、月に1度発行している通信にて情報発信しております。
19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	34件	件	件	件		・今後も気をつけて参ります。	

非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	26件	2件	件	6件	・避難訓練のお知らせがありました。	・月1度のおたよりで、避難訓練のお知らせや、防災についての会議の様子をお伝えさせて頂いております。今後は、防犯・感染症マニュアルを保護者の方が手に取りやすい場所に設置し、安心して頂きたいと思っております。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	22件	1件	1件	10件	・月刊のお知らせで訓練の様子の連絡がありました。	・訓練は年に2回行っています。また4ヶ月に1回、備蓄品の点検を行っています。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	34件	件	件	件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しみに通っています。</li> <li>・ウキウキで入っていきます。ママのことは振り返りもせずに喜んでいきます。安心してお願いできます。</li> <li>・いつも笑顔で通ってくれています。ありがとうございます。</li> <li>・子どもは通所を楽しみにしており、通所初期と比べても落ち着いてきています。</li> <li>・通所の日には朝から機嫌が良く、とても楽しみにしています。</li> <li>・自分から支度をしてはりきって通っています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ありがとうございます。とても嬉しいお言葉を頂き、職員一同励みになります。お子様にとって、大切な成長の場となりますよう、頑張っております。</li> </ul>
	23	事業所の支援に満足しているか	34件	件	件	件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの成長や課題に合わせた取り組みをして頂き、目に見えて成長している様子が伺えうれしいです。</li> <li>・先生方の支援には大変感謝しており、また満足しています。</li> <li>・もっと早くから通いたかったくらい満足しています。</li> <li>・みなさんとても子どもに向き合ってくれて、楽しめるようなプログラムを用意して下さるので感謝しています。</li> <li>・大満足です。いつもありがとうございます。</li> <li>・手厚くして頂き大満足です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ありがとうございます。とても嬉しいお言葉を頂き、職員一同励みになります。お子様にとって、大切な成長の場となりますよう、頑張っております。</li> </ul>

## 児童発達支援自己評価表

公表:令和 6年 1月 20日

事業所名 てらびあぼけつと籠原駅前教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4件	2件	1クールの人数は多いときはフロアを使用、もしくは順番で個室を利用しています。	
	2	職員の配置数は適切であるか	6件	0件	職員の定着により、常にワンツーマンの状態を保つことができている。	非常勤のフロア担当職員がいれば安心して療育に取り組むことができる。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6件	0件	視覚的に分かりやすく掲示をしている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4件	2件	クールごとに清掃、消毒を行っている	B、Cクールの入れ替え時の掃除が追いつかないこともあるため当番制を検討したい。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6件	0件	終礼や、振り返りシートを記入することで各職員に周知している。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6件	0件		
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6件	0件		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6件	0件		検討中
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6件	0件	職員は希望する研修を受ける機会が設けられている。事業所内研修も月2回行っている。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6件	0件		
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6件	0件	アセスメントシート以外にも、児発管が保護者とのモニタリングから作成するシートで情報共有ができている。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6件	0件	支援に必要な項目の説明を丁寧に行っている。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6件	0件	職員は定期的に児童支援計画に目を通すようにしている。	今後も継続していきたい。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	0件	6件	基本的にプログラムは児発管が立案している。	今後は児童指導員も参加していきたい。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6件	0件		
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成している	6件	0件		
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6件	0件	毎朝、朝礼後に話し合うようにしている。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6件	0件	終礼で報告、周知後、担当者が児童の振り返りシートに記入している。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6件	0件	振り返りシートにて、その日のセラピー内容や、本人の様子を記録している。	
20	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6件	0件			

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	0件	6件		今後参加していきたい。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	1件	5件		今後は率先して関係機関と連携していきたい。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	該当なし	該当なし		
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	該当なし	該当なし		
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6件	0件	児発管が通所児童の通う園を訪問し、園での様子など情報を共有している。	今後も継続していきたい。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	0件	0件		
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	0件	6件		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	6件	0件		
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	0件	6件		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6件	0件	送迎時に園での様子や、保護者の考えを聞き、支援を行っている。	引き続き、保護者に寄り添いながらの支援を継続していきたい。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	6件	0件	その日のセラピーの様子や、モニタリング時に自宅でのトレーニング方法もお伝えしている。	通信などで、ペアレントトレーニングについて周知していく。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6件	0件		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6件	0件		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6件	0件	児発管を中心に、送迎時でもできるだけお話をするようにしている。	引き続き、継続していきたい。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0件	6件		現状では、父母の会を行う予定はない。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6件	0件		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6件	0件	毎月1回、お便りを発行している。	今後はボード等も使用していきたい。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	6件	0件	お便りへの写真掲載など、別に許可を頂くようにしている。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6件	0件		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0件	6件		

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6件	0件	作成したマニュアルを職員に周知し、訓練等に活かしている。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6件	0件	避難訓練は年に2回。備蓄の在庫や、賞味期限の確認を3ヶ月に1回行っている。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6件	0件		
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6件	0件		
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6件	0件	終礼での周知、報告書の作成を行っている。	引き続き継続。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6件	0件	毎年実施している。本部作成の動画や資料を使い研修している。	引き続き継続。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6件	0件		

(注釈)

- i 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。
- ii 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。
- iii 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。
- iv 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。